

「一人の参加が地域の活性化に」

太田地区 小境 笹原 壽



先日まで地区社協の会長職を勤めさせていただいた関係で、区内の各種団体の総会に招かれる機会に恵まれることが多々ありました。どの団体も積極的な事業計画を確立していますが、事業報告では一転して参加者が少なく苦労したとの報告がありました。特に公民館や老人会においてその傾向が顕著であります。しかし地区内を別の視点で見ると、ゲートボールの会、俳句の会、音楽の会、踊りの会といった趣味の活動には大勢の皆さんが嬉々として参加されています。

かつて地区の球技大会の種目はソフトボールとバレーボールの2種目で参加者は若者を中心であり、集落に帰ったからの慰労会も同様でありました。公民館長の職を仰せつかった際に公民館長会で競技種目にゲートボールの追加を提案し実施したところ、今までゲートボールへの参加が消極的だった地域も公民館主催なので喜んで参加をし、取り組みのあった集落は2チーム

μ参加いただき、大変賑やかになりました。老若男女が一堂に会して和気藹々の慰労会が催せ、途切れることなく続いています。運動会でも、誰もが参加できる種目を取り入れてみたらどうだろうか。また、老人会の事業計画の中に、市で実施している集落サロンを積極的に取り入れたらどうか。集落サロンとは身体機能の維持や脳を活性化させる運動、語り部による昔話などをしており、誰もが参加できる会です。今は区長や民生委員が中心となつて進めているますが、寝たがりの期間を自発的に短くするために必要と考えます。

また、民生委員として高齢者のお宅を訪問し、お茶をいただきながらの会話中に、小旅行の楽しい話を聞かせてもらう機会が多くありました。まだまだ足腰が達者なうちに、あまり金のかからない小旅行をして「冥土の土産」にしたいとのことで、既存の枠に収まらない、こんな需要のあることもお伝えしたい。老人会が減少傾向にあると聞き、寂しさを感じています。団体や行事に参加者が少な

いだけの理由でなくすのは簡単ですが、再開にはそれ以上に大変な労苦が必要になります。今、本当に各団体の運営は大変であると思いますが、地道な活動のとりくみにより一人の参加者が一人の新たな参加者と呼び、少しずつでも団体が活性化されることを願いたいと思います。

マイ★オピニオン
意見・私見

「マスコミ効果」

富倉地区公民館 広報部員 大塚 幸広

毎年富倉地区では地域活性化の行事として、春には「富倉山菜まつり」、秋には「富倉新そば祭り」が開催されています。

毎回実行委員会が開かれ、開催日時やイベントの内容、店舗の配置や駐車場の場所は何処にするか、それから商品の仕入れはどの様にするか等々、数回にわたり話し合われます。話し合いの中では前回の問題点や新しい意見等が出てきます。それらの意見を参考にしながら、できるだけいつもと同じ内容にならない



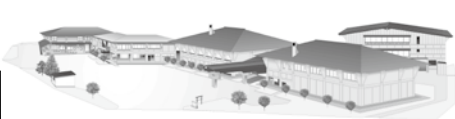
富倉山菜まつりの風景

様に決定します。しかし、イベントはいくら会議だけでも誰も集まらないので、地元のインターネット飯山をはじめ、新聞やテレビ等の

マスコミにも協力をお願いし広報されます。地元の飯山周辺の皆様には、インターネット飯山の取材により、何度も放送していただけるので非常に効果的です。また広域には、開催前にテレビの全国放送で紹介されることで、遠くから訪れてくださるお客様が非常に多くなりま

す。今年の「富倉新そば祭り」の時には、あまりに多くのお客様で品切れになる程賑わいました。

普段は人が少ない集落が大変な賑わいを見せ、マスコミの効果もあつて地域の活性化ができていと感じています。

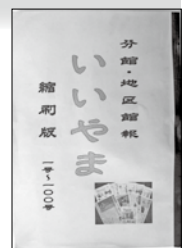


総合学習センター



飯山

◆分館・地区館報いよいよ
縮刷版1号〜100号発行



昭和60年8月15日発行第1号から平成19年10月15日発行第100号までの飯山地区公民館報を1冊にまとめた縮刷版手作り限定300部をこのほど発行しました。22年間の飯山地区公民館活動の歴史でもあり、懐かしいあの人やあの場面、専門部員等で活躍した若かりし日の自分も見つけてみてはいかがですか。飯山市公民館にて1冊300円で販売しています。

◆小学生 新年書初め大会

1月5日(土)飯山市公民館講堂において小学生を対象にした書初め大会を開催しました。初めての開催でもあり、参加者は15名と少なかつたが、冬休みの宿題の書初めと、公民館の書初め大会の課題に、皆一生懸命に取り組んでいました。



木島

◆きじまの暮開け！

元旦、150名余の参加のもと恒例の木島元旦マラソンが開催されました。

朝からこの冬一番の雪降りとなりましたが、親子でのランニング始めの後は、「もちつき大会」「お楽しみ抽選会」を行い新たなスタートをきりました。

◆第34回木島少年

クロスカントリースキー大会
2月11日(祝・月)午前9時30分から、木島保育園北側特設コースで開催します。

外様

◆ふれあいソバ打ち体験教室
12月16日(日)外様地区公民館で開催しました。当日は、森の家のインストラクターの丸山信之さんを講師に、初心者から自称そば打ち名人まで11名の参加があり、年越



せください。

しソバを自分で打つてみようと言うことで、講師の説明に真剣にメモを取り、額に汗しながらソバ打ちを体験しました。また試食では、つなぎや割合の違ったソバを食べ比べてみると、ソバを着に会話もはずみました。

◆第8回かまくらまつり

2月9日(土)、10日(日)外様寿村信濃平観光案内所周辺を会場に開催します。各種イベント、売店など盛りだくさんの内容で大勢の皆さんのお出掛けをお待ちしています。今年も、かまくら神社設置やお祝い記念花火の打ち上げを募集・予定しています。(詳しくは、記念花火係℡2225までお申し込みください。) また、かまくらづくりのボランティアも募集中です。詳しくは外様公民館(℡221029)までお問い合わせください。

権
人学習シリーズ

ヒーロー、活発・けじめ・自信

飯山市第一中学校 校長 宮澤 眞一

子どもたちの生活に接していて感じることは、人が自らの力をより発揮できたり、自分を表現できたりするため、人間的なつながりが大事になると思っています。

成長と共に集団内での自分の位置やあり方が意識され、「恥をかかない」「誰からも認められる」「自分を意識して生活しています。そのことは子どもを頑張らせますが、同時に、違った意味でとらえてしまうと、動きがとれなくなることとも出てくると思っています。

例えば、「恥をかかない」は「他に迷惑をかけないよう自分を律していく」ことにあると思うのですが、「分からないうまくできない自分の姿」を恥と見てしまうことがあります。「どうしてそうなるの。教えてくれよ。」といった普通の一言が、「恥」によって押さえ込まれ、「できる自分」を装っていないければならぬのは疲れます。せめて、人に知られないように自分で補おうと動いてくれればそれでいいのですが、強がってはいらぬが何もしないで、やがて、自分を諦めていくようではもったいないと思うのです。

「認められる」も同じで、

ややもすると素晴らしい結果や成果だけに目を向けがちですが、普段の生活の中で仲間と語り合ったり、共に活動しながら一つのことを仕上げた感動、互いにその人柄に触れ合う中で、結構、起きていることだと見えています。認める視点を能力・結果に限定してしましますと、簡単に到達できるものではないので、「自分よりできない人がいる。まだまだ自分はいい方だ。」と慰めに向かつてしまうことも出てきます。自分を卑下し、また、仲間によって不遜な態度や卑下した態度を使い分けていくのでは、本人の思いとは違った方向で人柄を受け止められてしまいます。

今年の生徒会テーマは「ヒーロー 活発・けじめ・自信」でした。三年生が中心に会員としての姿を方向づけ、自分に自信もてる生徒になろうとしました。そのために、人や活動に活発に関わってみよう、けじめのある行動で自らの生活を創ろうと、思いをひとつに自分の持ち味を出してみようとする、そんなヒーロー的な姿が会員に広がっていくことを、これからも応援していきたいと思っています。